



豚飲料用受水槽 (40m<sup>3</sup>)



豚飲料用受水槽 (20m<sup>3</sup>)

現場住所：福島県西白河郡西郷村  
羽太中久保地先

MAP

工事名：(株)木野内ファーム西郷農場

施主：株式会社 木野内ファーム

納入年月：2024年12月

構造物名：豚飲料用受水槽

納入製品：バジリスク(自己治癒コンクリート)  
プレキャスト水槽(40m<sup>3</sup>、20m<sup>3</sup>)

内寸寸法：B3000×H2100×L6550(40m<sup>3</sup>)

B3000×H2100×L3310(20m<sup>3</sup>)

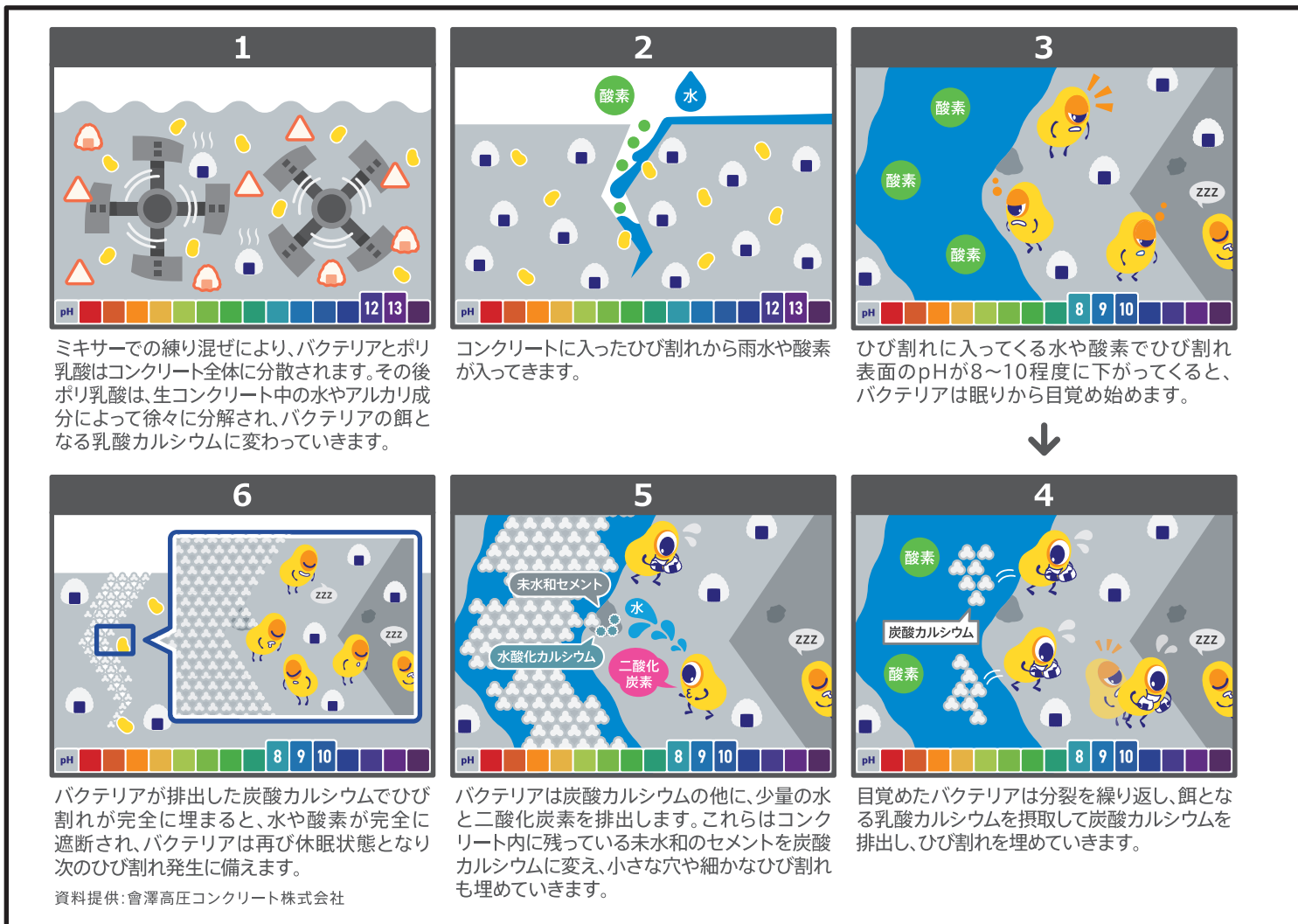


WEB カタログ



# バジリスク(自己治癒コンクリート)

バジリスク (Basilisk) は、細菌と特殊な栄養源をコンクリートに混ぜ込むことで、ひび割れが発生すると細菌が活動を開始し、炭酸カルシウムを生成して自動的にひび割れを修復します。これにより、コンクリートの耐久性が向上し、維持管理コストの削減やインフラの長寿命化につながることで、環境負荷低減の効果が期待されています。※CO<sub>2</sub>排出量約35%削減



(株)木野内ファーム 西郷農場において、豚の水飲み用受水槽をプレキャスト製で製造しました。さらに、ひび割れを自己治癒する「バジリスク」を用いたコンクリートを採用し、万が一のヒビからの漏水を防止。耐久性向上により維持管理の負担を軽減します。高品質なプレキャスト技術と最新の自己治癒コンクリートで長寿命かつ安心・安全な施設運営を支えます。



画像出典：(株)木野内ファームホームページ (<https://www.kinouchifarm.co.jp/>)



**aNET ZERO**  
Initiative

自己治癒コンクリート  
**Basilisk**  
self healing concrete ©AIZAWA

日本興業株式会社は、2040年までに温室効果ガスのサプライチェーン排出量を実質ゼロにする『NET ZERO 2040』にコミットメントします。